

第 99 回保健師国家試験 (H25.2.15) 全国調査結果の検討

- 出題内容の検討 [A:出題基準外である]
 [B:設問の主旨が理解しにくい]
 [C:選択肢の表現が理解しにくい]
 [D:選択肢がナンセンスで正答が明らかである]
 [E:正答がない] [E:正答がひとつしかない]
 [F : 正答が複数ある] [G:その他:簡単すぎる]

【午前問題】

問題 番号	不適切 問題指 摘数 n = 78	国試験委員会での検討結果		
		正答	タソミ レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午前 1	17	4	I	保健所法に新旧の表示が必要であるとの指摘が 13 校あった。しかし、S22 年は保健所法の全面改正であり制定ではない。よって、出題内容に問題なし。
午前 7	9	2	I	〔G:その他:看護師国家試験の問題である〕 潰瘍性大腸炎患者の療養に関する基礎知識である。
午前 9	9	2	I	〔B:設問の主旨が理解しにくい〕 学校衛生行政における最新の課題(喀痰吸引)に関する出題であるが、医療的ケアを必要とする児への援助と特別支援学校の選択肢が混在している。また、出題の主旨が曖昧である。よって、改善を要する。
午前 11	9	4	III	〔F : 正答が複数ある可能性〕 正答は 4 であると考えるが、設問に「保健師は地域で取り組む課題と考えた」とあるため、自治会組織に現状を説明する 1 も正答の可能性はある。
午前 17	8	3	I	〔G:その他:看護師国家試験の問題である〕 訪問看護の基礎知識は在宅看護論である
午前 43	16	2	II	〔B:設問の主旨が理解しにくい〕 「A さんのような高齢者」という表現が何を指すのか不明で判断が分かれ、1 と 2 の優先度判定が困難である。
午前 44 ～46	11	44-3 45-3 46-2	II II I	〔B:設問の主旨が理解しにくい〕 一行で状況設定問題といえるのか。問題 44 の設問文の内容を状況設定におくのがよい。
午前 47	12	2	II	〔D:選択肢がナンセンスで正答が明らかである〕 選択肢 1, 3, 4, がナンセンス選択肢で、正答が明らかである。選択肢のブラッシュアップが必要。

問題 番号	不適切 問題指 摘数 n=78	国試験委員会での検討結果		
		正答	タリミ レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午前 50	18	1,2,4,5	III	〔E:正答がひとつしかない〕 職員が交代制であるため 1 は正しい。検便対象者として全児は正しいが、全家族は不適切であり 2 は正答といえない。自宅のふき取り調査は優先しないので 3 は誤答。喫食調査は全児に必要であるため 4 は正答とはいえない。疫学調査項目として 5 は必要であるが、1 週前の起点が曖昧であり、正答とはいえない。 よって、2 つの正答がないので、不適切問題である。
午前 55	13	4	II	〔B:設問の主旨が理解しにくい〕 「補正したところ、結果に大きな違いはなく、有意であった」という文章は意味が不明で、説明不足である。

【午後問題】

問題 番号	不適切 問題指 摘数 n=78	国試験委員会での検討結果		
		正答	タリミ レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午後 1	17	3	II	〔F:正答が複数ある〕 ポピュレーションアプローチ・ハイリスクアプローチを問うのか、実現可能性を問う問題か、意図が分かりづらい。地域特性(人口規模)、実習地域によってイメージが異なる。
午後 7	6	3	I	〔G:その他:看護師国家試験の問題である〕 精神障害者の入院形態は看護師国家試験の出題範囲である。
午後 10	10	1	I	〔G:その他:一般常識レベルの問題である〕 看護の初学者でなくても解答可能。国家資格を問う問題か。
午後 11	16	1,2	I	〔F:正答が複数ある〕 健康教育の評価を企画・実施・結果と考える場合には、プロセス評価は実施評価であり、正答は 2 である。しかし、保健事業の評価においては、ストラクチャー(実施体制)、プロセス(企画・運営等実施過程)、アウトプット(事業の実施量)、アウトカム(成果)と考えるのが一般的であり、1 と 2 が正答となる。 よって、正答が複数あり、不適切問題である。
午後 15	10	3	I	〔G:その他:一般常識レベルの問題である〕 看護の初学者でなくても解答可能。一般常識問題である。

問題 番号	不適切 問題指 摘数 n = 78	国試験委員会での検討結果		
		正答	難易度 レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午後 17	6	2	I	〔G:その他: 看護師国家試験の問題である〕 介護保険の基礎知識は看護師国家試験の出題範囲である
午後 19	8	3	I	〔G:その他: 簡単すぎる〕 労働衛生の三管理は古典的な出題で時代にそぐわない。
午後 37	11	4	I	〔G:その他: 簡単すぎる〕 保健所保健師として果たすべき役割・行動を問う選択肢の 設定が望ましい。
午後 41	6	3	II	〔B:設問の主旨が理解しにくい〕 効果的なグループワークの方法を問うているのに、選択肢 2, 4 はグループワークではないために、出題の意図が不明 瞭である。 ブラッシュアップが必要: 例えば、「セルフケア能力の向上の ために効果的な学習方法はどれか。」
午後 42	26	なし	III	〔B:設問の主旨が理解しにくい〕〔C:選択肢の表現が理解し にくい〕〔E:正答がない〕 セルフヘルプグループの支援においては当事者に他のグル ープを紹介することは効果的であるが、立ち上げ時に他県 は不適切であり、選択肢 1 は誤答。A 市の保健師が立ち上 げに関わるために、A 市在住に限定する 2 の選択肢は正答 と解釈できる。セルフヘルプグループ発展段階の初期には、 専門職が指揮を執る積極的な関わりが必要であるため 3 が 正答と考えられるが、「保健師が中心となる」という表現は 不適切である。 よって、正答が複数あり。不適切問題である。
午後 44 ～46	14	44-4 45-2 46-4	II II II	〔D:選択肢がナンセンスで正答が明らかである〕 状況設定問題の 3 連問の場合、その内の 1 問の難易度が低 すぎたり、意味のない問題が含まれる。前文の情報が活か されていないために、連問である意味が薄い。改善を要す る。ブラッシュアップが必要である。

問題 番号	不適切 問題指 摘数 n = 78	国試験委員会での検討結果		
		正答	タソミ レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午後 51	9	4	II	〔D:選択肢がナンセンスで正答が明らかである〕 1.2.3 はナンセンスな選択肢である。また、個人のニーズは前問で把握できている。「さらにニーズ把握」という場合、独居以外の高齢者のニーズか地域全体のニーズか、曖昧である。ブラッシュアップが必要である。

良問調査：教員が選んだ「保健師らしい国家試験問題」

- 〔A：実習を通して得られる能力を問うている〕
- 〔B：業務上重要な意味を持つことを問うている〕
- 〔C：保健師の基本的技術を問うている〕
- 〔D：状況判断に基づいた実践能力を問うている〕
- 〔E：重要な基本的題材を問うている〕

【午前問題】

問題 番号	良問で あると 回答 n = 78	国試験委員会での検討結果		
		正答	タソミ レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午前 14	5	2	III	〔D：状況判断に基づいた実践能力を問うている〕 住民との協働に向けた合意形成により効果的な方法を問うている
午前 24 ～26	4	24・4 25・2 26・3	II II II	〔E：重要な基本的題材を問うている〕 設問の流れが自然である。今後強化すべき出題内容である。 統計情報を図式化し、情報読解能力を問う良い問題。
午前 34	2	4,5	II	〔E：重要な基本的題材を問うている〕 保健活動の安全管理は今後さらに重要なテーマになる
午前 35	3	2,4	III	〔D：状況判断に基づいた実践能力を問うている〕 設問で「相手の気持ちを受け止める」レベルが記載され、次の段階の援助を問うている。 *過去の出題では、「相手の気持ちを受け止める」レベルが支援方法を問う選択肢に位置づけられることが多かった。
午前 37	6	3,4	III	〔D：状況判断に基づいた実践能力を問うている〕 健康危機管理において実践的かつ基本的な出題である。

問題 番号	良問で あると 回答 n = 78	国試験委員会での検討結果		
		正答	タリミ レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午前 50 ～51	13	50-? 51- 2,4	III III	〔E：重要な基本的題材を問うている〕 感染症発症時の基本的対応として重要である。食中毒か感染症か、知識と状況判断を問う良問である。 残念ながら、出題の意図が活かされず、不適切問題となったが、選択肢のブラッシュアップ過程で、正答可能性の選択肢が増えたのではないかと想像する。

【午後問題】

問題 番号	良問で あると 回答 n = 78	国試験委員会での検討結果		
		正答	タリミ レベル	回答校の〔理由〕コメントを基に協議した内容
午後 32	6	2,5	III	〔D：状況判断に基づいた実践能力を問うている〕〔E：重要な基本的題材を問うている〕 災害時における地域のアセスメントをさせた上で、課題解決に関係機関の知識を活かす出題の意図が良い。 健康危機管理の実践的能力を問う良い問題である。 短い設問文で状況を語らせた応用問題である。
午後 35	1	1,5	II	〔B：業務上重要な意味を持つことを問うている〕 基本知識が習得されていなければ解答できない良問。
午後 36 ～38	9	36-3 37-4 38-3	I I II	〔C：保健師の基本的技術を問うている〕 今後在宅医療推進として進められる分野であり、個別ケアから地域へのケアシステムとして展開していく、保健師の実践能力を問うている良い問題である。
午後 47 ～49	14	47-4 48-3 49-2	II III II	〔D：状況判断に基づいた実践能力を問うている〕 実際に現場でよくある事例と状況である。
午後 53 ～55	4	53-1 54-4 55-4	II II II	〔B：業務上重要な意味を持つことを問うている〕 集約されたデータ読み取りの視点が良い。保健師基礎教育に必要な知識に基づき、状況判断できる能力を問うている。